

【会告（通常総会議事録）】

国際ジオテキスタイル学会日本支部

1995年度 通常総会 (議 事 録)

期 日：1995年 1月19日（木）14：00～17：00

会 場：（社）土質工学会第1会議室（東京都千代田区）

出席者： 福岡正巳支部ほか 143名（うち委任状119名）

議 事：

1. 開会宣言

岩崎高明幹事長から出席者・委任状数の報告があり、日本支部規定に基づき通常総会として成立したことが宣言された。

2. 議長選出

岩崎高明幹事長から、日本支部規定に基づき議長に福岡正巳支部長を推薦する旨の提案がなされ、全員一致で了承された。

3. 議長挨拶

福岡正巳議長から以下のような挨拶があった。

最初に、兵庫県南部地震でなくなられた方々へ弔意を表したい。

日本支部の発足準備は1982年に始まり、それ以降活発な活動をつづけてきており、5 I G C（シンガポール大会）ではロー会長から日本支部の活動への感謝のお言葉をいただいた。日本支部の昨年度活動としては、ジオメンブレン技術委員会（堀口隆司委員長）の活躍、会誌「ジオテキスタイル技術情報」の充実、講演会・セミナー・シンポジウムの開催などがある。また、試験法JIS 原案作成（化繊協会・土質工学会）への協力、国際繊維会議での招待講演、ジオテキスタイル講習会（土質工学会）での講演、土木学会年次学術講演会・土質工学研究発表会でのジオテキスタイル関連セッションへの協力など日本支部単独以外にも活発に活動を行った。

9月に行われた I G S 理事会では、理事選挙の方法を明確にすること、I G S 賞の申込要領を明確にすること、今後の運営のためのマニュアルをつくること（決めた事と議論した事を明確に分けてかく）を提案し、実行する事となった。

4. 1994年度 事業の報告

岩崎高明幹事長から報告があり、討議の結果資料「議題4. 1994年度事業の報告」のように了承された。

5. 1994年度 収支決算の報告

丸山健吉理事（会計担当）一代 藤田氏一から報告があり、討議の結果資料〔議題5. 1994年度収支決算の報告〕のように了承された。

6. 1994年度 監査報告

堀家茂一幹事（会計監事担当）から、事前に収支報告を監査の結果、適正でかつ正確であることを認める旨報告された。

7. 1995年度事業の計画

岩崎高明幹事長から説明があり、討議の結果資料〔議題7. 1995年度事業の計画〕のように了承された。なお、福岡支部長から、事業計画は折々見直ししながら活動を積極的に進めていくよう要望があった。

8. 1995年度 予算の計画

岩崎高明幹事長から説明があり、討議の結果資料〔1995年度予算の計画〕のように了承された。

9. 1995年度 一部役員の変更

岩崎高明幹事長から説明があり、討議の結果資料〔議題9. 1995年度一部役員の変更〕のように了承された。

10. 規定の変更

I G S本部が1994. 9月に名称変更を行い「国際ジオシンセティックス学会」となったことへの対応を検討した。討議の結果、日本支部の名称を変更することとした。なお、会員および対外的に名称変更を周知徹底させることが重要なので、その方法等の検討を岩崎高明幹事長が担当することとした。

以 上

資料〔議題4. 1994年度事業の報告〕

1) 会員数

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1994年12月	1名	200名	45名	22社	268

(グループ1含む)

2) 刊行物の発行

- ①国際ジオテキスタイル学会日本支部名簿(1994. 1月)
- ②ジオテキスタイル技術情報(日本支部ニュース)(1994. 3月、7月、12月)
- ③第1回ジオメンブレン技術に関するセミナーテキスト(1994. 3月)
- ④ジオテキスタイル講演会テキスト(1994. 11月)
- ⑤第9回ジオテキスタイルシンポジウム発表論文集(1994. 12月)

3) 開催した行事

- ①ジオメンブレン技術に関するセミナー(3/16(水) 於中央大学記念館 参加者 100名)
- ②5 I G C シンガポール大会出席旅行団(9/3～10 参加者 55名)、日本から 100名参加
- ③ジオテキスタイル講演会(11/1(火) 於中央大学記念館 参加者 60名)
- ④第9回ジオテキスタイルシンポジウム(12/1(木) 於総評会館 参加者 80名)
- ⑤ジオテキスタイル試験法シンポジウム(共催 6/15(水) 於家の光ホール 参加者 100名)
- ⑥土木学会年次学術講演会、土質工学研究発表会のジオテキスタイル関連セッションへの協力

4) 委員会等の活動

- ①1994年度通常総会 (1/28(金))
- ②幹事会 4回(1/28, 6/15, 9/15, 12/1)
- ③編集委員会 2回(4/19, 8/25)
- ④行事委員会 2回(8/23, 11/15)
- ⑤ジオメンブレン技術委員会 9回(1/28, 2/22, 4/20, 5/17, 7/5, 8/25, 9/28, 11/4, 12/16)
- ⑥関連学協会のジオテキスタイル関連活動への協力

5) I G S 本部の関連

- ①理事会への出席(於シンガポール 9/4～9):福岡支部長、赤木理事
- ②英文名簿を本部送付
- ③I G S 本部への報告および連絡

資料〔議題5. 1994年度収支決算の報告〕

1994年度（平成6年度）決算書

（自 平成6年1月1日～至 平成6年12月31日）

1995年1月19日

会計幹事 丸山 健吉

（収入の部）

科 目	予 算	決 算	備 考
1 会費収入			
個人 8,000-	200名 1,600,000-	185名 1,480,000-	
法人 240,000-	25社 6,000,000-	22社 5,280,000-	
学生 3,000-	50名 150,000-	12名 36,000-	
（小計）	(7,750,000)	(6,796,000)	
2 講習会テキスト	250,000-	240,000-	
3 シンポジウム論文集	250,000-	302,950-	
4 出版物収入	100,000-	64,000-	
5 I G S本部還付金	270,000-	276,750-	
6 受取り利息	4,000-	3,830-	
小 計	8,624,000-	7,683,530-	
7 前年度繰越金	▲ 49,045-	▲ 49,045-	
8 その他	0-	0-	
合 計	8,574,955-	7,634,485-	

（支出の部）

科 目	予 算	決 算	備 考
1 国際学会費	1 \$ = 115円		
個人	200名 1,035,000-	193名	
法人	25社 2,875,000-	22社	
学生	50名 57,000-	43名	
（小計）	(3,967,000)	(3,408,616)	
2 国際会議派遣費	500,000-	500,000-	
3 ニュース印刷費	740,000-	1,031,624-	1993.12 月号含む
4 講習会費	360,000-	261,494-	
5 シンポジウム費	300,000-	316,987-	
6 各種委員会費	510,000-	497,180-	
7 事務経費	100,000-	100,000-	土質工学会への御礼
8 通信費	300,000-	344,726-	
9 消耗品費	60,000-	103,220-	
10 印刷製本費	70,000-	150,599-	
11 備人費	1,100,000-	770,700-	7～9 月分無
12 手数料	30,000-	26,171-	
13 積立金	0-	0-	
14 その他	30,000-	68,734-	
15 予備費	500,000-	0-	
小 計	8,567,000-	7,589,051-	
16 次年度繰越金	7,955-	54,434-	
合 計	8,574,955-	7,634,485-	

資料〔議題7. 1995年度事業の計画〕

1) 会員数拡大のための活動

	名誉会員	個人会員	学生会員	特別会員	計
1994年12月	1名	200名	45名	22社	268
1995年(目標)	1名	220名	50名	25社	296

(グループ1含む)

2) 刊行物の発行

- ①国際ジオテキスタイル学会日本支部名簿(1995. 3月)
- ②ジオテキスタイル技術情報(日本支部ニュース)3回/年(3, 7, 11月発行)
- ③第2回ジオメンブレン技術に関するセミナーテキスト(1995. 4月)
- ④ジオテキスタイル講演会テキスト
- ⑤第10回ジオテキスタイルシンポジウム発表論文集(1995. 12月)
- ⑥入門書「ジオメンブレン技術概説(仮)」(1995. 8月)

3) 行事の開催

- ①第2回ジオメンブレン技術に関するセミナー(4/6(水))
- ②ジオテキスタイル講演会
(ジオメンブレン技術入門(仮題)+サルジニア'95報告)10/12(木)
(ジオシンセティックス'95報告(仮題))3/16(木)
- ③第10回ジオテキスタイルシンポジウム(11月30日(木) 於東京)
- ④学生向講演会
- ⑤その他

4) 委員会等の活動

- ①1995年度通常総会 (1月19日)
- ②幹事会 5回(3, 4, 7, 10, 12月)
- ③編集委員会(委員長 赤木俊允) 3回(3, 7, 11月)
- ④行事委員会(委員長 坂口昌彦)
- ⑤ジオメンブレン技術委員会(委員長 堀口隆司)
9回(1, 2, 3, 5, 6, 8, 10, 11, 12月)
- ⑥総務委員会(委員長 新井齊)
- ⑦プロモーション委員会(委員長 龍岡文夫)
- ⑧関連学協会の委員会活動への協力

5) IGS本部の関連

- ①理事会への出席(1995.2 ナッシュビル)
- ②英文名簿を本部送付
- ③IGS本部への報告および連絡

資料〔議題 8. 1995年度予算の計画〕

1995年度（平成 7 年度）予算計画案

（自 平成 7 年 1 月 1 日～至 平成 7 年12月31日）

1995年 1 月19日

会計幹事 丸山 健吉

（収入の部）

科 目	予 算	備 考
1 会費収入		
個人 8,000-	220名 1,760,000-	
特別 240,000-	25社 6,000,000-	
学生 3,000-	50名 150,000-	
(小計)	(7,910,000)	
2 講演会テキスト	250,000-	
3 シンポジウム論文集	300,000-	
4 出版物収入	700,000-	1)
5 I G S本部還付金	346,500-	個人15\$ × 220名 学生15\$ × 50名
6 受取り利息	4,000-	
小 計	9,510,500-	
7 前年度繰越金	54,434-	
8 その他	0-	
合 計	9,564,934-	

（支出の部）

科 目	予 算	備 考
1 国際学会費		1 \$ = 105円
個人 45 \$	220名 1,039,500-	
特別 1,000 \$	25社 2,625,000-	
(小計)	(3,664,500)	
2 国際会議派遣費	900,000-	300,000- × 3名
3 ニュース印刷費	750,000-	
4 講習会費	350,000-	
5 シンポジウム費	350,000-	
6 各種委員会費	500,000-	
7 事務経費	100,000-	土質工学会
8 通信費	350,000-	
9 消耗品費	100,000-	
10 印刷製本費	60,000-	2)
11 備人費	1,200,000-	
12 手数料	30,000-	
13 積立金	200,000-	
14 その他	30,000-	
15 予備費	400,000-	
小 計	9,524,000-	
16 次年度繰越金	40,434-	
合 計	9,564,934-	

1) (仮) ジオメンブレ技術概説 3,000- × 200部 含む

2) (仮) ジオメンブレ技術概説・名簿 印刷製本 含む

資料〔議題 9. 1995年度一部役員の変更〕

I G S 日本支部 1995年度役員等名簿 - 新任◎印、役員の変更○印 -

(1995. 3月現在)

支 部 長	福岡 正巳	東京理科大学理工学部土木工学科
支部顧問	田中 茂	(財)建設工学研究所
〃	山内 豊聡	九州産業大学工学部土木工学科
幹 事 長	岩崎 高明	三井石油化学工業(株)、三井石化産資(株)
幹 事	赤木 俊允	東洋大学工学部土木工学科
〃	阿部 裕	鹿島建設(株)技術研究所
〃	新井 斉	前田建設工業(株)営業本部土木営業第3部
〃	伊藤 雅夫	前田建設工業(株)施工本部土木部
〃	笠原 清麿	前田工織(株)技術部
〃	○川崎 廣貴	清水建設(株)土木本部技術第一部
〃	菊地 洋司	日特建設(株)基礎本部
〃	熊谷 浩二	前田建設工業(株)技術研究所土質研究室
〃	○小西 紀夫	(株)クラレ 東京産資販売部
〃	小林 祥克	三井石化産資(株)土木資材事業部
〃	坂口 昌彦	大成建設(株)国際事業本部営業部
〃	鈴木 茂	日本ゼオン(株)環境資材事業部土木資材第2部
〃	◎龍岡 文夫	東京大学生産技術研究所第5部
〃	田中 雅敏	(株)田中 開発部
〃	塚本 英樹	(株)建設企画コンサルタント総務部
〃	鶴岡 胤英	(株)銭高組 技術研究所
〃	中村 和之	東急建設(株)技術研究所
〃	西形 達明	関西大学工学部土木工学科
〃	橋詰 文伯	大都工業(株)技術研究室
〃	深井 慎也	東レ(株)アクスター事業部
〃	細谷 芳巳	(株)大林組 技術研究所土木第2研究室
〃	堀口 隆司	(株)ジオトップ
〃	堀家 茂一	(株)熊谷組 技術本部
〃	巻内 勝彦	日本大学理工学部交通土木工学科
〃	梶尾 孝之	太陽工業(株)土木エンジニアリング事業部
〃	○松本 一男	シーアイ化成(株)土木産業資材部
幹事(会計担当)	丸山 健吉	岡三興業(株)開発事業部
幹 事	三木 博史	建設省土木研究所材料施工部土質研究室
〃	村田 修	(財)鉄道総合技術研究所土質研究室
〃	山下 恒雄	農林水産省四国農業試験場基礎整備室
〃	大和 真一	旭化成工業(株)ジオ技術開発部
〃	吉川 進	三菱化学産資(株)土木資材部
〃	渡 義治	(株)水野工学研究所
会計監事	深井 慎也	前掲
〃	堀家 茂一	前掲
事 務 局	吉岡 紀男	(社)土質工学会総務部
〃	熊谷真知子	